

耳・目・鼻の異常

耳の異常

- 耳の痛みがある
- 耳の聞こえが悪い
- 耳だれがでてきた

(緑)

- 頭部打撲後や耳を耳かきなどで突いたあとに、透明な液体が出てきてめまいが出現してきた

(黄)



- 意識状態が悪い場合

(赤)

目の異常

- 目が痛い
- 目が充血している
- 目やにが出る
- まぶたが腫れている

(緑)

- 目に異物が入って取れない、痛みがある

(黄)



- 酸性やアルカリ性の物が入った場合には速やかに水洗いをしてください

(赤)

鼻の異常

- 鼻づまりで寝苦しそう
- 鼻水が出る

(緑)

- 鼻血が出る

(緑)

右記の処置を行う



- 右記の処置を行っても鼻血が止まらない

(黄)

日中にかかりつけ医へ (緑) 夜間でも相談または受診 (黄) 救急車を呼ぶ (赤)

耳の痛みがあるとき

急性中耳炎の可能性が高いですが、おたふく風邪、頸部(くび)のリンパ節炎でも耳の痛みを訴えることがあります。

- 痛みが強い時は解熱鎮痛剤(座薬や内服薬)を使用すると痛みが和らぎます。もし解熱鎮痛剤がない場合は冷やしてあげると痛みが和らぎます。
- 耳だれが出ている時は綿棒などを奥までは入れず、手前に出てくる液を拭き取るようにしてください。

目の化学損傷

酸性やアルカリ性の物が入った時は失明に至る危険性があるため、救急車を呼び、以下の処置を行ってください。

- 1) 健側の目を上にして、患側の目をゆるい流水で洗う。まぶたや目の周囲も十分に洗浄する。
- 2) 大きめの清潔なガーゼでおおう。

目やに、目の充血

目やにが出てきたり、目が充血している時は結膜炎をおこしている可能性があります。結膜炎の原因は、鼻風邪、アレルギー、ウイルスや細菌の感染などがあります。病院を受診するまでの家庭での対処は、目をこすると炎症が悪化する可能性があるためできるだけこすらないように気をつけてください。

また、感染性の結膜炎の可能性があるときは、目やにを拭いたティッシュは毎回捨てるようにして、顔や手を拭くタオルも他の家族と共有しないようにしてください。



鼻血が出た時の処置

- 1) 鼻血を飲まないように下を向かせましょう。
- 2) 鼻の中に何も入れずに、鼻翼全体をできる限り深くつまみ、鼻中隔を圧迫止血します。
- 3) 鼻呼吸ができない状態で、約15分持続的に圧迫します。